

## 編集後記

今回の『探求』は、例年とは異なり、昨夏の若手ゼミの論文集であるだけでなく、今夏に開催される若手ゼミの宣伝も含めようということになり、出版の次期が遅くなってしまいました。昨夏のテーマレクチャーで講演頂きましたお三方を初めとしまして、お忙しい中、早々に原稿を頂いた執筆者の方々には大変ご迷惑をお掛け致しましたが、この場をお借りしてお詫び申し上げます。また今夏のテーマレクチャーで講演頂く予定のお三方にも講演のファーストスケッチを、お忙しい中お寄せ頂きましてありがとうございました。

今回は、昨夏のテーマレクチャー「時間論」を特集していますが、「時間論」というトピックへのアプローチの多様性、そして問題の深さを改めて感じさせられました。また個人研究発表の皆さんの論文も、興味深い内容のものばかりでした。おかげさまで内容豊かな『探求』をつくることができたのではないかと考えています。（編集 金杉 武司）

5月7日、ようやく編集作業が終わりました。

『探求』第27号は横書きです。過去の横書きの『探求』としては第17号を手に入れることができましたが、ほとんど前例のない中で、いろいろと試行錯誤した結果このような体裁に落ちつきました。しかし、まだまだ改良するべきところはあると思います。今後の『探求』の編集のためにも、この『探求』第27号を購入してくださった皆様、そして執筆者の方々からのご意見をお待ちしております。

最後に、執筆者の方々には、発行がずいぶんと遅れてしまったことをお詫び申し上げるとともに、世話人からのメールおよび電話での問い合わせに丁寧に答えていただいたことについて、この場を借りてお礼を申し上げます。また、作業のいろいろな段階で助言や助力をくださった方々にも、お礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。（編集 日比野 克哉）